

## 理学部地球圏科学科

学位（教育）プログラム名：地球圏科学

地球圏とは、大気圏、水圏、岩石圏とそこに棲息する全生物からなる生物圏から構成されており、学位（教育）プログラム（理学部 地球圏科学科）では各圏の構成内容と、それらの相互作用を成立に遡って理解できることを教育の目標とし、次のようなカリキュラムを編成している。

1, 2年次では、物理学、化学、生物学、地球科学の実験、および第1・第2外国語、スポーツ演習を必修とし、自然科学の基礎となる数学、物理学、化学、生物学、地球科学を幅広く選択履修できるように配置し、基礎学力と実験観察力を養うとともに、書く力の養成を含めた導入教育を1年次前期に設置している。共通教育によって提供される総合教養科目は、選択履修時期によらず人格形成や国際性、社会性を身につけることに寄与する科目群として位置付けている。

3年次進級時に、地球圏に関する専門性をより深めるため、A群（地球科学）、B群（地球物理学）、C群（生物学）の実験科目群のいずれかを選択し、地球圏各圏についてより高度で専門的な実験手法と観察技術、さらに成果発表の能力を実践的に修得する。また多様な専門選択科目群は重複しないように開講しているので、どの科目も自由に選択履修でき、幅広い視野で自然現象の理解を深めることができる。これらの科目にはキャリア教育科目や理科教育科目も含まれている。

4年次には大学での学びの集大成として、各自個別の課題による卒業論文に取り組む。これは必修科目であり、主体的に取り組む実験観察、論文作成、口頭発表を通じて、自然科学に取り組む姿勢や論理的思考力、書く力やプレゼンテーション力を身につけることができる。また、特別講義として各分野の最先端成果を外部講師から学ぶ機会も設けている。